

# コース概要

## 放射線科専攻コース

### 【プログラムの目的と特色】

放射線診療における業務には各種画像診断（核医学を含む）、interventional radiology (IVR)、放射線治療があるが、本プログラムではそれらをカバーし、放射線科医として必要な基本的知識並びに技能を習得し、認定医試験に合格することを目的とする。当院には単純X線撮影装置を初めとして、X線TV装置、MRI(1.5Tと3T装置)、CT(MDCT 2台)、血管撮影装置(conebeam CT撮影機能付き2台)、核医学装置、Lineac放射線治療装置など各種モダリティーが整備されている。撮影された画像は、コンピュータによる管理がなされており(PACS)、フィルムレス運用となっている。



### 【研修内容と到達目標】

#### 後期1年次

- ・放射線の人体への影響、医療被曝と防護について理解し、説明できる。
- ・画像診断装置の原理・特徴を理解し、種々の基本的検査技術を習得する。
- ・common diseaseの画像診断が適確に出来る。
- ・放射線治療装置、計画装置を理解し、指導医と一緒に治療計画を行う。
- ・造影剤の基本とその合併症を理解し、副作用発生時の緊急対応が出来る。
- ・基本的画像診断について前期研修医の指導が出来る。
- ・指導医の指導の下で経験症例の学会発表を行い、論文にまとめる。

#### 後期2年次

- ・画像診断の経験を積み、適切な画像診断が列挙できる。
- ・代表的な疾患について指導医の下でinterventional radiologyが出来る。
- ・基本的放射線治療計画が行え、患者・紹介科の主治医に説明が出来る。
- ・一般的な画像診断、放射線治療について研修医の指導が出来る。
- ・1年目で選択した研究テーマについて、臨床データを収集し解析を行う。

#### 後期3年次

- ・すべての画像検査を正確に理解・実行し、診断が出来る。
- ・例外的な症例についても鑑別診断として列挙でき、確定診断のための今後の方針を計画できる。
- ・主要な疾患について、指導医のもとでinterventional radiology が出来る。
- ・すべての画像診断と治療について研修医の指導が出来る。
- ・臨床研究の結果を論文で発表し、将来の臨床研究の基礎を身につける。

### 【週間スケジュール及び主催勉強会等】（CC: カンファレンス）

	月	火	水	木	金
朝	IVRCC	IVRCC		IVRCC	IVRCC
午前	診断 / IVR診察 放治診察 放射線治療	診断 放射線治療	診断 超音波検査 放射線治療	診断 放治診察 放射線治療	診断 放射線治療
午後	診断/IVR 放射線治療	診断/IVR 放射線治療	診断 放射線治療	診断/IVR 放射線治療	診断/IVR 放射線治療
夕		抄読会	胸部CC	腹部CC	

# コース概要

## 【平成22年度における診療実績】

術名・検査名	件数	コメント
一般撮影	34,921	ポータブル含む
CT検査	10,768	胸腹部も1件と計算
MRI検査	5,750	
核医学検査	832	
診断血管造影	90	冠動脈を除く
IVR(内 非血管)	278(82)	
超音波検査	240	放射線科施行分
造影検査他(骨塩)	1,292(196)	消化管・DIP等
放射線治療・治療計画	8,190	

## 【指導医】

医師名	役職	医師資格 取得年	所属学会・資格等	専門領域
中川 裕之	部長	昭和 58	日本医学放射線学会専門医:診断、日本脳神経血管内治療学会指導医、日本IVR学会専門医	画像診断、IVR
堀川 典子	医長	昭和 63	日本医学放射線学会専門医:治療、日本放射線腫瘍学会認定医、日本乳癌学会専門医	画像診断、 放射線治療
井上 正義	医員	平 16	日本医学放射線学会認定医、日本IVR学会	画像診断、IVR
宮坂 俊輝	医員	平 17	日本医学放射線学会認定医、日本核医学会認定医	画像診断、IVR

## 【取得可能な認定医・専門医】

放射線科専門医(画像診断、放射線治療)

IVR専門医

脳神経血管内治療専門医

日本乳癌学会乳腺専門医

## 【学会認定・施設】

日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関

日本IVR学会IVR専門医修練施設

日本放射線腫瘍学会認定施設

日本乳癌学会認定施設